

令和6年度女性の健康課題に関する健康意識調査業務  
企画提案書作成要領

広島県が実施する、令和6年度女性の健康課題に関する健康意識調査業務に係る企画提案公募（プロポーザル）に関し、プロポーザル参加者が企画提案書を作成するために必要な事項は次のとおり。

1 企画提案時の提出書類

(1) 企画提案書一式（任意様式）

- ①表紙
- ②企画提案書
- ③実施体制図

(2) 事業予算見積書（任意様式）

- ・広島県知事宛てとすること。
- ・当業務に係る所要経費を全て見積もること（消費税及び地方消費税相当額を含む。）。
- ・見積の根拠となった所要経費の内訳（項目、数量、単価、金額等）を明らかにした見積書を提出することとし、「一式」という表現は極力行わないこと。
- ・企画提案内容との整合を図ること。

(3) 提出部数

- 企画提案書一式：正本1部、副本7部
- 事業予算見積書：提案書とは別葉で1部

2 企画提案書の作成方法

- (1) 提出書類は、原則として、原則A4版両面使用とすること。ページ番号は、目次を除き通し番号とし、各ページの下部中央に印字すること。
- (2) 審査の公正を期すため、企画提案書の副本7部には、会社名、住所、ロゴマークなど、プロポーザル参加者を特定できる表示を付さず、別途通知する提案要請記号を付すこと。実施体制図などには、プロポーザル参加者名を「当社又は当団体等」と記載すること。
- (3) 下記3に沿った構成及び記載内容とすること。

3 企画提案書の構成及び記載内容

仕様書及び評価基準を参考の上、次の事項について記載した企画提案書を作成すること。

なお、仕様書の4(1)④調査票の設計に記載の対象分野（ア）～（オ）は、これに関連する健康意識や生活習慣において他県と差が生じており、本県女性の健康度に特に影響していると広島県が仮説を立てている分野であり、別紙「対象分野の設定背景」を参考の上、これを踏まえた提案をすること。

(1) 表紙（任意様式）

様式右肩に、参加資格確認通知の際に併せて通知する提案要請記号（アルファベット）を記入すること。

## (2) 企画提案書（任意様式）

### ア 実施方針

本業務実施にあたっての考え方や実施方針のポイント、実施スケジュール等を記載すること。

### イ 業務内容

「令和6年度女性の健康課題に関する健康意識調査業務仕様書」の4に記載する次の業務について、分かりやすく具体的に記載すること。

#### ① インターネットアンケート調査

- ・調査対象者、サンプルの回収方法及び回収予定数、その根拠（結果の分析及び施策の検討にそれが必要充分であると考えられる理由）を記載すること。
- ・調査票の設計、調査の実施、集計・分析までの手順（調査票の原案を県に提示する時期を含む）を記載すること。
- ・個人情報や調査データの管理方法を記載すること。

#### ② インタビュー調査

- ・調査対象者数、調査対象者の選定方法及び募集方法について記載すること。
- ・インタビュー調査の実施方法、実施体制について記載すること。
- ・調査対象者の選定、インタビューガイドの作成、調査の実施、とりまとめの手順（調査対象者やインタビューガイド案を県に提示する時期を含む）を記載すること。
- ・個人情報や調査データの管理方法を記載すること。

#### ③ 調査結果の集計・分析

- ・広島県の女性の健康課題に影響している要因を明らかにできるよう、効果的な分析方法及び分析軸を記載すること。また、分析方法に併せて、調査項目の骨子（設問数、調査票の設計）を記載すること。
- ・本委託契約の範囲で対応可能な追加分析等の範囲を記載すること。

#### ④ 最終報告書の作成

- ・アンケート調査とインタビュー調査結果により明らかとなった、広島県の女性の健康課題に影響している要因について、分かりやすくまとめる工夫を記載すること。

## (3) 実施体制図（任意様式）

業務実施に要する人員配置や役割分担、関係機関があれば連携体制について記載すること。また、業務全体を監理する者及びその他の業務従事者について、指揮監督のあり方、配置、業務内容等を記載すること。

## (4) その他

- ・本業務と同種又は類似業務の実績がある場合は、具体的に記載すること。
- ・本業務に対する提案者の優位性等を記載すること。

## 対象分野の設定背景

## 1 広島県女性の健康課題に関する特徴

基幹統計や広島県県民健康意識調査等のオープンデータを参考に、全国比較又は本県データの男女比較・年次比較により、広島県女性の現状・特徴として以下のとおり認識している。

## (1) 全国と比較した受療率（出典：令和2年患者調査）

- ① 44歳以下女性で、精神疾患の受療率が高い（全国比較可）
- ② 45歳以降女性で、高血圧の受療率が高く、65～74歳女性で急増する（全国比較可）
- ③ 65～74歳女性で、骨折の受療率が高い（全国比較可）
- ④ 65～74歳女性で、糖尿病の受療率が高い（全国比較可）

## (2) 健診・検診の受診率

- ① 広島県の女性は、すべてのがん検診受診率が全国に比べ低い（全国比較可）

		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
全国	男性	47.5%	53.2%	49.1%	—	—
	女性	36.5%	46.4%	42.8%	43.6%	47.4%
広島県	男性	51.3%	54.3%	49.7%	—	—
	女性	35.8%	41.5%	38.4%	42.5%	42.6%

（出典：令和4年国民健康生活基礎調査）

- ② 広島県民は、特定健康診査の実施率が低い（全国比較可）

令和3年度実施率 52.5%（全国36位）、市町国民健康保険では30.6%（全国45位）

（出典：特定健康診査・特定保健指導の実施状況）

- ③ 広島県民は、骨粗鬆症検診の受診率が低い（全国比較可）

令和3年度受診率 3.7%（全国5.3%、全国25位）

（出典：日本骨粗鬆症財団報告）

## (3) 生活習慣病の発症・重症化のリスクとなる状況

- ① 39歳以下の女性で「精神的な不調」により日常生活に問題がある人が多い（全国比較不可）（出典：広島県県民健康意識調査）

	総数	20～29歳	30～39歳
総数	9.4%	39.1%	13.1%
男性	8.7%	27.3%	8.9%
女性	10.0%	56.8%	17.6%

- ② 20歳代女性のやせの割合が増加傾向（全国比較不可）（出典：広島県県民健康意識調査）

調査年	H25.3	H29	R5
20代女性	20.0%	10.9%	25.2%

- ③ 40～60歳代女性の肥満の割合が増加傾向（全国比較不可）（出典：広島県県民健康意識調査）

	H29	R5	増減
20～60歳代 男性	32.2%	28.5%	-3.7%
20～60歳代 女性	14.3%	18.0%	3.7%

- ④ 広島県民は、進行した歯周炎を有する人の割合が増加傾向（全国比較不可）（出典：広島県歯科保健実態調査）

	H28	R4	増減
40歳代	56.0%	58.0%	2.0%
50歳代	62.8%	69.1%	6.3%

- ⑤ 20～64歳女性は、運動習慣のある人

の割合が低い（全国比較不可）（出典：広島県県民健康意識調査）

		H29	R5	増減
男性	20～64歳	21.0%	33.6%	12.6%
	65歳以上	35.7%	54.5%	18.8%
女性	20～64歳	12.9%	25.7%	12.8%
	65歳以上	26.9%	41.2%	14.3%

- ⑥ 女性は、日常生活における歩数が少なく、減少傾向（全国比較不可）（出典：広島県県民健康意識調査）

		H29	R5	増減
男性	20～64歳	8,200歩	7,907歩	-3.6%
	65歳以上	7,254歩	5,811歩	-19.9%
女性	20～64歳	8,320歩	6,951歩	-16.5%
	65歳以上	6,538歩	4,864歩	-25.6%

- ⑦ 20歳代女性は、毎日朝食を食べる人の割合が低く、減少傾向（全国比較不可）（出典：広島県県民健康意識調査）

		H29	R5	増減
総数		84.4%	82.8%	-1.6%
男性	20歳代	60.7%	61.4%	0.7%
	30歳代	68.6%	68.0%	-0.6%
女性	20歳代	56.9%	53.5%	-3.4%
	30歳代	77.2%	72.6%	-4.6%

- ⑧ 広島県民は、1日の野菜摂取量が全国に比べて少ない（全国比較可）（出典：国民健康・栄養調査）

調査年	H25.3	H28	H30	R1	R1全国平均
成人	261g	273g	286.3g (参考値)	251.6g (参考値)	269.8g

- ⑨ 広島県民は、毎日飲酒している人の割合が全国に比べ高い（全国比較可）（出典：令和4年国民生活基礎調査）

	広島県	全国
総数	18.5%	16.3%
男性	28.9%	25.5%
女性	9.2%	7.9%

- ⑩ 女性は、睡眠による休養が充分とれている人の割合が低い（全国比較不可）（出典：広島県県民健康意識調査）

	H29	R5	増減
総数	28.8%	29.5%	0.7%
男性	31.8%	31.4%	-0.4%
女性	26.2%	27.7%	1.5%

- ⑪ 広島県民は、悩みやストレスがある人の割合が全国に比べ高い（全国比較可）（出典：令和4年国民生活基礎調査）

	広島県	全国
総数	47.1%	46.1%
男性	41.4%	41.2%
女性	52.2%	50.6%

※年齢階層別で見ると、女性は15～54歳で全国を上回り、特に25～44歳は6割以上の人が悩みやストレスを抱えている。

		総数	12～14歳	15～24	25～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75～84	85歳以上
女性	広島県	52.2%	26.5%	44.6%	61.5%	62.8%	58.1%	49.4%	47.8%	48.6%	54.4%
	全国	50.6%	32.8%	42.3%	55.4%	57.9%	56.8%	53.4%	44.6%	47.7%	51.1%

## 2 特に取り組むべき課題等

オープンデータから明らかとなった現状・特徴のうち、特に取り組むべき課題、取組によっ

て効果が期待できる課題、相互に連動するため併せて取り組むとよい課題について、以下のことを注視している。

○ライフコースアプローチを踏まえた女性の健康を検討する上で、エストロゲンの変動は重要。更年期ではエストロゲン量が急激に変動・減少し、骨粗鬆症、脂質異常症のリスクが高まる。

○骨折の予防

- ・女性への骨粗鬆症検診の実施が骨粗鬆症予防に効果があることはエビデンスが出ているが、広島県は受診率が低く、骨粗鬆症になっていることに気がつかない。
- ・骨折予防には、運動と栄養バランス（カルシウムやビタミン D）が重要であり、若年期からのアプローチが求められる（骨量のピークは 20 歳頃である）。
- ・若年期のやせは、骨粗鬆症にも関係するため、併せて取り組むとよい。
- ・骨折は、女性の介護になった主な原因の 2 位であり、主観的健康度に直接影響すると考える。

○メンタルヘルスと睡眠

- ・広島県女性は、幅広い年代において精神疾患の受療率が高く、メンタルヘルスは主観的健康度に直接影響すると考える。
- ・睡眠時間が短いことが課題だが、高齢者の寝すぎはフレイルリスクにもなる。また、睡眠不足はメンタルヘルスにも影響を及ぼす。
- ・睡眠の改善にはリテラシーが非常に重要であり、自身が寝られていないことを自覚するところからの啓発が必要。
- ・朝食は体内リズムを整える作用があるため、睡眠にも影響する重要な観点である。
- ・肥満は睡眠時無呼吸症候群によって睡眠の質を低下させるリスクにも繋がる。

○適正体重を維持（肥満・やせの予防）することや、運動習慣の定着は、骨折・メンタルヘルス不調だけでなく、他の生活習慣病への影響も強いと考え、さらに、自身の健康状態に気づく機会である健診・検診と併せて取り組むことが重要であるとの仮説を立てている。

### 3 仮説の設定

上記を踏まえ、次の①～⑤の事項に関連する健康意識や生活習慣において他県と差が生じており、本県女性の健康度に特に影響していると仮説を立てた。

- |                     |   |                       |
|---------------------|---|-----------------------|
| ① 骨折の予防             | } | 主観的健康度に直接影響するものの改善    |
| ② 休養とメンタルヘルス        |   |                       |
| ③ 適正体重の維持（やせ・肥満の予防） | } | 健康に影響を及ぼす生活習慣・社会環境の改善 |
| ④ 運動習慣の定着           |   |                       |
| ⑤ 健診・検診の実施          | } | 自身の健康状況に気づく機会の醸成      |

また、健康課題に関連する要素について、想起されるものを次頁のとおり整理した。

